

労務理論学会第19回全国大会プログラム

テーマ **現代日本の働き方を問う—規制緩和下の労働と生活—**

日時 2009年7月17(金)～19日(日)
場所 駒澤大学 深沢キャンパス

17日(金) 拡大理事会

18日(土)

9時30分 **特別シンポジウム**

規制緩和と労働・生活を考える
—研究者と労働運動家が現代と未来を語る—

報告者 五十嵐仁(法政大学)
龍井葉二(連合)
井筒百子(全労連)
河添 誠(首都圏青年ユニオン書記長)

司会者 三島倫八(龍谷大学) 清山 玲(茨城大学)

12時～ 昼食 理事会

13時～ **自由論題**

<p>第1会場 司会者 今村寛治(熊本学園大学) ①山下祐介(駒沢大学) CSR制度化の実践における要件 ②橋本広直(駒澤大学大学院) 企業福祉の歴史とこれからの展望 ③田中秀樹(同志社大学大学院) 日本における戦略的人的資源管理の可能性 休憩</p>	<p>第2会場 司会者 中川香代(高知大学) ①早川佐知子(明治大学大学院) アメリカの病院経営における人事労務管理の変遷 ②吉村大吾(九州大学大学院) 若年雇用対策の課題 ③国府俊一郎(台湾 中華大学) 台湾における企業の労働移動と技術育成 休憩</p>	<p>社労士分科会 司会者 山口陽一郎(東京都社労士会) ①斎藤充弘(東京都社労士会) 事業縮小下の助成金行政の現状と課題 ②森岡三男(東京都社労士会) 今日における派遣労働の実態とその問題点 ③田中建一(千葉県社会保険労務士会) パワー・ハラスメントによる精神障害の心理的負荷の評価について 休憩</p>
<p>15時～ 15時10分 第3会場 司会者 森田園子(大阪樟蔭女子大学) ①渡部あさみ(明治大学大学院) 長時間労働の発生要因に関する一考察 ②岩田一哲(弘前大学) 過労死・過労自殺の心理的要因と職場状況との関係</p>	<p>第4会場 司会者 岡田寛史(岩手県立大学) ①島袋隆志(明治大学大学院) コールセンターに見る非正規雇用の実態と人事労務管理 ②本釜大三(立命館大学大学院) ピアノ技術者(調律師)のキャリアにおける一考察</p>	<p>書評分科会 司会者 井上千一 ①評者 内田一秀 アメリカの雇用・貧困・格差について ②評者 植上一希 日本の雇用・貧困・格差について</p>

16時30分 **会員総会**

18時～ 懇親会

19日(日)

9時30分 **統一論題**

現代日本の働き方を問う—規制緩和下の労働と生活—

司会者 安井恒則(阪南大学)

関口定一(中央大学)

報告者 **雇用と格差問題** 伍賀 一道(金沢大学)
労働時間 鷲谷 徹(中央大学)
賃金・労使関係 木下武男(昭和女子大)

12時～ 昼食 理事会

13時～ **ジェンダー** 大槻 奈巳(聖心女子大学)
労働法制の規制緩和 笹山尚人(労働弁護団)

15時～ 休憩

15時10分 **統一論題シンポジウム**

パネリスト 長井偉訓(愛媛大学)

長谷川義和(大月短期大学)

17時 閉会
新会長挨拶
主催校挨拶